

目標を立てる (将来像のイメージ)
 ～関西イノベーション国際戦略総合特区でメインターゲットとした医薬品、医療機器、先端医療技術、先制医療の推進を通じて、彩都バイオグラウンドデザインが目標とした「10年後(2018年)に北大阪バイオクラスターを中核とした大阪を「世界第5位」に」を目指して～

規制改革

- ◎関西イノベーション国際戦略総合特区による規制改革等を活用した先進的な医薬品、医療機器、先端医療技術等の開発促進(全団体)
- ◎PMDA-WEST機能充実に向けた国への働きかけ(大薬協、大商、府)
- ◎医薬品・医療機器等の輸出入手続きの電子化・簡素化(大薬協、府)

治験の促進

・治験・承認審査等の円滑化、迅速化

- ・産学官医連携による人材育成セミナーやPMDA薬事戦略相談の実施(阪大、府、国循、近経局)
- ・「早期・探索的臨床試験拠点整備事業」の実施(阪大、国循)
- ・「革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業」の実施(基盤研、阪大、国循)
- ・医療機器専門相談員による相談事業の実施(府)
- ・創薬推進連絡協議会における審査申請手続きの効率化策の検討(大薬協)

・治験ネットワークの構築

- ・大阪治験Webに掲載する病院の拡充(大薬協、府)
- ・「創薬推進連絡協議会治験中核・拠点医療機関」への一元的治験窓口の開設(府)
- ・希少疾病治験ウェブの開設・運営(基盤研)
- ・府立病院機構5病院での治験促進に向けた環境整備(府)
- ・府立病院機構5病院、基幹的医療機関(阪大附属病院、国立循環器病研究センター、国立病院機構大阪医療センター、府立病院機構等)による治験促進に向けた検討(府)
- ・難易度の高い治験を対象とした中央治験審査委員会(IRB)設置準備事業の実施(府)

研究成果の事業化推進

・世界トップクラスの大学等研究機関の集積を活かした革新的研究の推進

- ・ナショナルプロジェクトの獲得等による研究資金の確保(全団体)
- ・地域イノベーション戦略支援プログラムの推進(大薬協、市、大商、市大、阪大、府、千里LF)
- ・ヒトiPS細胞の提供、難病研究資源バンク事業・実験動物研究資源バンク事業の推進(基盤研)
- ・中枢神経系制御薬開発のための疾患モデル動物の提供(OBI)
- ・iPS細胞臨床研究センター(大阪大学医学部附属病院内)の運営(阪大)
- ・研究開発基盤センターの運営(国循)
- ・医療クラスター棟の運営推進(国循)
- ・次世代ワクチン基礎研究室の整備並びに研究開始(阪大)

・産学官連携の強みを活かした事業の展開

- ◎医薬基盤研究所が本部機能を担う「オールジャパンでの創薬支援体制」の構築(基盤研)
- ・共同研究、共同開発、技術移転等のための産学マッチング事業の実施(全団体)
- ・大学等研究機関と製薬企業との産学連携・共同研究促進(大薬協、市、大商、市大、阪大、OBI、府、府大)
- ・産学連携のためのコーディネーター人材確保・活用(大商、市大、阪大、府大、千里LF)
- ・ワクチンアジュバント※の研究開発における産学官連携の推進(※薬物の作用を増強するために加えられる添加物)(基盤研)
- ・大阪バイオ・ライフサイエンスイノベーション拠点による創薬研究支援の実施(阪大)
- ・核酸医薬品製造に係る実証・評価設備整備(基盤研、阪大)
- ・医産連携によるヘルスケアビジネス創出事業の実施(大商)
- ・産学官医のプラットフォーム「健康科学ビジネス推進機構(関西経済連合会)」設立による健康科学関連産業での科学的検証システムの確立を目指す取組み(市、市大、阪大、府、府大、近経局)
- ・「健康科学イノベーションセンター」(うめきた)の運営(市大)

バイオベンチャー育成(ファイナンス、人材確保)

・バイオベンチャーの創出・育成の促進

- ・「大阪バイオファンド」の運営(大薬協、大商、府)
- ・オール大阪でのバイオベンチャーの支援スキーム構築・提供(全団体)⇒GP、LP連絡会議等を通じた支援体制確立
- ・既存民間ファンドの活用等検討(府)
- ◎「おおさか地域創造ファンド」を活用した医薬品・医療機器・iPS細胞(再生医療・創薬等)関連製品開発支援事業の実施(大薬協、大商、府、千里LF)
- ・「バイオビジネスアワードJAPAN」実施による有カバイオベンチャーの創出(大薬協、大商、府、千里LF)
- ・「研究シーズ・企業ニーズ発掘隊」事業を通じた事業ニーズの把握や支援メニューの提供(府)
- ・「彩都デスク」運営による彩都内企業の情報収集・支援メニュー提供(府)
- ・バイオベンチャーの創出、支援方策の検討と実施(全団体)
- ・基礎研究とベンチャー企業との研究開発面の橋渡し支援方策検討(阪大)

・人材の育成・確保

- ・大学等研究機関の若手研究者等を対象とした企業実務に関するプログラム等の実施(知財等)(市大、阪大、OBI、府大、千里LF)
- ◎起業支援型地域雇用創造事業(基金事業)を活用した人材育成・確保支援(市・府)
- ・企業内で研究開発や企画業務を担う人材や起業を志す人材等を対象とした事業戦略立案・予算管理・プレゼンテーション能力等の向上を図る教育プログラムの実施(市)

アライアンス促進

・製薬企業の集積を活かした先端医薬品開発の推進

- ・共同研究、共同開発、販路開拓、技術移転等のための企業間マッチングの推進(千里LF)
- ・「創薬・基盤技術アライアンス・ネットワーク」によるアライアンス支援(大商)
- ・「創薬シーズ・基盤技術アライアンス・ネットワーク疾患別・基盤技術別商談会」によるバイオベンチャーと製薬企業とのアライアンス支援(大薬協、大商)
- ・「地域イノベーション戦略支援プログラム」による大学等研究機関の研究情報の製薬企業への提供(千里LF)
- ・製薬企業と研究者・バイオベンチャーのアライアンス機会の創出(千里LF)
- ・研究成果の実用化、事業化に向けた競争的資金獲得支援(千里LF)
- ・研究開発推進会議による製薬企業と大学、公的研究機関の研究者等との交流を促進(大薬協、府)
- ・「バイオスプリングボード関西(公財)都市活力研究所」による大学、公的研究機関における創薬シーズ研究の促進支援(大薬協)

・ものづくり中小企業の集積を活かした医療機器開発等、異業種参入の促進

- ・共同研究、共同開発、販路開拓、技術移転等のための企業間マッチングの推進(大商)
- ・多様な企業の保有技術の掘り起こし及びマッチング促進(大商、市、府)
- ・「次世代医療システム産業化フォーラム」等による医療関係者ニーズ、研究者のシーズのものづくり企業への橋渡し(大商)
- ・関西イノベーション国際戦略総合特区「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」の実施(大商)
- ・医療機器相談事業による異業種参入促進(府)
- ・iPS細胞(再生医療・創薬等)関連分野の振興に関する調査の実施(府、千里LF)
- ◎支援拠点「Collabo'S(コラボス)316」における事業化プロジェクト推進のための支援プラットフォーム「おおさかトップランナーClub」の運営(市)
- ・「大阪トップランナー育成事業」による医療福祉機器開発に必要なマッチングや実証実験支援など、事業ステージに応じた経営課題のハンズオン支援(市)
- ・「介護・福祉、医療関連分野の開発相談窓口」による開発及び参入促進(市)
- ◎「大阪医工プロジェクト推進事業」による府内ものづくり中小企業の医療用機器分野への参入促進(大商、府)

国際連携等

・関西圏の広域的なポテンシャルを活かした情報発信力、国際連携の強化

- ・WEBサイト「BIO-BRIDGE KANSAI」(関西バイオ推進会議)による海外への企業情報等の発信強化(大商)
- ・関西バイオ推進会議を母体とする国内外との連携事業の展開やMOU締結(大商)
- ・全国ネットワークによる医療機器国際フォーラムの大阪開催(大商)
- ・タンパク質連携プロジェクト「プロテイン・モール関西」の運営(府、千里LF)

・グローバル展開を支援するための海外クラスターとの連携強化

- ・海外国際見本市への出展・面談等による海外企業等とのアライアンス促進(全団体)
- ・MOU締結海外クラスターとの企業交流の促進(全団体)
- ・国際治験ネットワークの構築(大薬協、大商、府)
- ◎関西イノベーション国際戦略総合特区「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」パッケージ化した医療インフラの提供事業の実施(大商、国循)
- ・「創薬シーズ・基盤技術アライアンス・ネットワーク」事業の国別商談会開催(大商、大薬協)
- ・「次世代医療システム産業化フォーラム」のグローバル展開による革新的医療機器の開発(米ミネソタ・シンガポールとの連携等)(大商)
- ・「プロテイン・モール関西」海外プロモーション・アライアンス支援(府、千里LF)

・情報発信(ブランド力)の強化

- ・国際見本市等への出展における情報発信の工夫・強化(全団体)
- ・大阪バイオ戦略推進会議メンバーによるトップセールスの実施(全団体)
- ・クラスター内ポテンシャルとインパクトのある情報の継続的な発信(市、大商、府、近経局)
- ・「北大阪バイオクラスター」(WEBサイト)の充実(府)

拠点形成

・優遇税制を活用した企業誘致・設備投資の促進

- ◎国際戦略総合特区における優遇税制(最大地方税ゼロ税制)を活用した企業誘致、設備投資の促進(市、府)

・インキュベーション施設等のインフラ整備

- ・新たなインキュベーション施設、ミドルステージのベンチャー向け施設の開設に向けた取組み(府)
- ・治験薬共同受託製造施設(GMP)整備構想への参画推進(府)
- ◎関西イノベーション国際戦略総合特区「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」医工連携推進事業(プラットフォーム整備事業)実施(大商)
- ・NMR等所有機器の共用利用(開放)推進(基盤研)
- ・「大阪バイオ・ライフサイエンスイノベーション拠点」における研究機器共同利用の実施(阪大、府)
- ・産・学大型協働研究棟の稼働(テクノアライアンス棟)(阪大)
- ・最先端医療融合イノベーション拠点の整備(阪大、府)
- ・BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)研究センター(仮称)の設立(府大)
- ・**彩都の立地企業受け皿エリア拡充(彩都中部地区計画の推進)**
- ・彩都中部地区をライフサイエンス分野をはじめとするイノベーション的な企業の集積拠点にするため、施行主体、地権者等との連携・調整を実施(府)

到達度を測る 各構成団体の実施状況を「大阪バイオ戦略推進会議」で検証

- ①アクションの達成指標：主要テーマについてはロードマップに沿ってオール大阪で実施。(具体的内容は分科会や関係機関において協議・検討)
- ②クラスターとしての発展指標：バイオ企業数、生産高、雇用者数、バイオベンチャー数、IPOベンチャー数、研究者数、パイプライン数 の7項目をフォロー

●「大阪バイオ戦略推進会議」の構成12団体<50音順>：独立行政法人医薬基盤研究所、大阪医薬品協会、大阪市、大阪商工会議所、公立大学法人大阪市立大学、国立大学法人大阪大学、公益財団法人大阪バイオサイエンス研究所、(各項目の()内は主な推進団体・五十音順) 大阪府、公立大学法人大阪府立大学、近畿経済産業局、独立行政法人国立循環器病研究センター、公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団